

一般社団法人山形県臨床検査技師会 第45回定期総会

日 時：平成30年6月9日（土）13：00～

場 所： かんぼの宿酒田 会議室

受付開始 13：00

定期総会 13：30

顕彰式典 14：45

講 演 15：00

「検査室からのチーム医療参画と臨床支援」

(LIS・診断新システムを利用した支援のご紹介)

アボットジャパン株式会社 テクニカルスペシャリスト 嶋崎 徹 氏

「検査の精度に関する法改正の話題」

アボットジャパン株式会社

セールステクニカルソリューション部 部長 井地 聰一 氏

総会次第

1. 司会者挨拶
2. 開会挨拶
3. 議長選出
4. 議長挨拶
5. 総会役員任命
6. 会長挨拶
7. 資格審査
8. 議 事

承認事項

- | | |
|------|----------------|
| 認第1号 | 平成29年度事業報告 |
| 認第2号 | 平成29年度会計決算報告 |
| 認第3号 | 平成29年度特別会計決算報告 |
| 認第4号 | 平成29年度監査報告 |

議 事

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 第1号議案 | 平成30年度一般社団法人山形県臨床検査技師会事業計画（案） |
| 第2号議案 | 平成30年度一般社団法人山形県臨床検査技師会予算（案） |
| 第3号議案 | 平成30・31年度一般社団法人山形県臨床検査技師会役員改選（案） |
| 第4号議案 | その他 |

9. 議長解任
10. 閉会挨拶

顕彰式典

平成 30 年度一般社団法人山形県臨床検査技師会表彰

功労賞

古里 由美子	(山形市立病院済生館)
国井アツ子	(山形市立病院済生館)
長沼 貞弘	(山形県立新庄病院)
諏訪 晋一	(鶴岡市立荘内病院)
邊見 庸一	(庄内保健所)
大内 尚子	(庄内最上地区)
鈴木 京子	(公立置賜総合病院)
石山 和敏	(やまがた健康推進機構 米沢検診センター)

奨励賞

鈴木 裕	(山形県立中央病院)
結城 智嗣	(篠田総合病院)
菅原 永里奈	(鶴岡市立荘内病院)
木村 俊平	(公立置賜総合病院)
高橋 由紀	(三友堂病院)

永年職務精励者表彰

安達 和子	(山形市立病院済生館)
松岡 敦子	(篠田総合病院)
黒瀬 里知子	(篠田総合病院)
大津 淳子	(山形市医師会健診センター)
須藤 祐一	(やまがた健康推進機構 山形検診センター)
清和 敏	(鶴岡協立病院)
菅原 等	(やまがた健康推進機構 庄内検診センター)
佐藤 久美	(本間病院)
斎藤 恒子	(本間病院)
斎藤 裕美	(酒田市立八幡病院)
本間 尚子	(日本海総合病院)
芳賀 寛和	(公立置賜総合病院)
児玉 さだ子	(公立置賜総合病院)
大峽 雅男	(三友堂病院)
白田 淳	(米沢市立病院)

平成29年度一般経過報告

山形県臨床検査技師会（以下、山臨技）は、当会の根幹である学術事業（9部門7分野）を中心に活動し、第38回山形医学検査学会や各部門研修会、学術部主催研修会、精度管理事業を開催しました。第38回山形医学検査学会は34の演題数となり、会員の学術に関する意識の高さが窺えました。また、山臨技精度管理事業は、会員施設63およびメーカーから多くの参加がありました。公益事業は、「全国検査と健康展」として第20回臨床検査展を行いました。

平成29年度は医療法・臨床検査技師等に関する法律の一部改正という大きな変革がありました。医療機関等の中で検体検査を行う場合の施設の構造設備等並びに精度の確保の方法等に関する基準の創設、衛生検査所等において行われる検体検査の精度の確保に関する基準の明確化の措置の他、検体検査を包括規定し、詳細な分類は厚生労働省に委任することが規定されました。厚労省の検討会で詳細な規定が検討されています。

また、今回の医療法、臨検法の一部改正に伴う付帯事項において、「検査精度の確保に関しては、遺伝子関連検査を含む検体検査のみならず、心電図、脳波、超音波検査等の生理学的な検査について、学術団体等の作成するガイドライン等に留意しつつ検討すること」などが記載されました。昭和33年以来の医療法における「臨床検査」の法的地位が認められましたが、臨床検査技師の業務独占はまだ達成されてはおりません。

日臨技は、「検体検査の特定分野における業務制限」に向けて、遺伝子関連検査、輸血を含む移植関連検査、がん治療（遠隔診断など）に関する病理診断、耐性菌に関する微生物検査など、高度な知識や技術を要する分野については検査の専門家として検査の品質と精度保証を確保する上で法的な業務制限に向けた取り組みをしており、各種認定技師などもその一つです。

山臨技においても認定技師の一つ認定認知症領域検査技師のための「認知症対応力向上講習会B」を開催（平成29年11月19日）し、会員15名が受講しました。2025年に65歳以上の5人に1人、700万人が認知症患者とされる予想で政府は「新オレンジプラン」を策定し、認知症の早期発見、若年性認知症対策の必要性が示されています。認知症医療センターにおける検査部門のあり方に関する現況調査（平成27年度）では、認知症スクリーニング担当医療職種のうち臨床検査技師は30.7%：2位（作業療法士35.2%：1位）でした。神経心理学的検査は対面の検査であり、さまざまな型の認知症患者によって対人スキルや心配り、認知症の全般的知識が重要となります。

染色体・遺伝子部門は活動休止の状態ですが、「染色体・遺伝子部門あり方会議」を持ち、次年度以降の活動を話し合いました。厚労省は遺伝子関連検査を含むゲノム医療の取り組むべき課題として、遺伝子関連検査の品質・精度の確保、ゲノム医療に従事する者の育成などにかかわる取り組みをしていくとしています。山臨技としては、臨床微生物、病理細胞診、臨床血液、生物化学分析そして染色体・遺伝子部門と共同して基礎から出発していきたいと考えています。

共用基準範囲については、山形県精度管理委員会において山形県や山形県医師会に対して説明とともに賛同を働きかけています。また、生物化学分析部門研修会においての特別講演を企画し、多くの研修会参加者がありました。

臨床検査技師の人材確保を目的に高校生進路支援ガイダンス(平成29年12月9日:山形新聞掲載12/10)を開催しました。臨床検査技師の仕事内容や若手技師からの体験談、そして検査室での実地体験を山形大学医学部附属病院をお借りして行いました。

日臨技主催研修会の「医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会(多職種業務を知る)企画担当者研修会」、「都道府県技師会リーダー育成研修会」へは各1名派遣、「初級・職能開発講習会」へは参加を促しました。

平成27年度から開催された「検体採取等に関する厚労省指定講習会」への受講促進を促しましたが、山臨技会員335名(55.5%:平成30年2月現在)の受講に留まっています。

平成29年度保健衛生関係功労者山形県知事表彰は、伊藤啓明副会長(日本海総合病院)、奈良崎正俊副会長(山形大学附属病院)が受賞致しました。

「臨床検査の質の向上」及び「法改正」の実現を図り、国民の医療、福祉に寄与することを目的とした日本臨床検査技師連盟への加入者は2,727名で、山形県の加入者は25名(山臨技会員の4%)です。山臨技各部・各委員会の事業報告は後掲しており、確認、承諾をお願いいたします。

庶務部

1. 定期総会

1) 第44回定期総会開催

平成29年6月10日(土) 赤湯温泉「むつみ荘」

特別講演

「山形県地域医療構想について」

講師：山形県健康福祉部地域医療対策課 黒田 英昭 氏

2. 理事会・業務執行理事会の開催

理事会については、以下のごとく8回開催した。内容は山臨技HP「理事会議事録」を参照。

三役会議については、第1回理事会に併せて1回開催した。業務執行理事会については、以下のごとく1回開催した。

1) 第1回理事会	平成29年	4月12日(水)	山臨技事務所
2) 第2回理事会	平成29年	5月13日(土)	赤湯温泉「むつみ荘」会議室
3) 第3回理事会	平成29年	6月10日(土)	赤湯温泉「むつみ荘」会議室
4) 第4回理事会	平成29年	7月12日(水)	山臨技事務所
5) 第1回業務執行理事会	平成29年	7月12日(水)	山臨技事務所
6) 第5回理事会	平成29年	9月13日(水)	山臨技事務所
7) 第6回理事会	平成29年	10月29日(日)	長井タスパークホテル会議室
8) 第7回理事会	平成29年	11月28日(火)	山臨技事務所
9) 第8回理事会	平成30年	1月27日(土)	赤湯温泉「むつみ荘」会議室

3. 日臨技(北日本支部含)、東臨技関連会議

1) 平成29年度東臨技代表者会議

平成29年7月7日(土) 秋田県仙北市

伊藤副会長出席

2) 平成29年度日臨技総会

平成29年6月24日(土) 東京都

居鶴会長出席

3) 平成29年度第1回北日本支部幹事会

平成29年6月9日(金) 札幌市

居鶴会長出席

4) 北日本支部連絡会議

平成29年10月13日(金) 秋田市

居鶴会長と鈴木俊紀病理部門長出席

5) 日臨技情勢報告会及び賀詞交換会 東京都

平成30年2月2日(金)

居鶴会長出席

6) 平成 29 年度日臨技全国幹事会

平成 30 年 2 月 3 日 (土) 東京都

居鶴会長出席

7) 平成 29 年度第 2 回北日本支部幹事会

平成 30 年 2 月 23 日 (金) 仙台市

居鶴会長出席

4. 表彰

1) 第 44 回山臨技定期総会 (南陽市) にて表彰

功劳賞

阿部 周一 (山形県立中央病院)
渡邊真由美 (山形県立中央病院)
芳賀 祐司 (東北中央病院)
設楽ふさ子 (至誠堂総合病院)
奥山 洋子 (山形大学医学部附属病院)
太田 玲子 (山形大学医学部附属病院)
田中 穂積 (北村山公立病院)
梅津 敏郎 (公立高島病院)
梅津 昭典 (公立置賜総合病院)
坂 博之 (公立置賜総合病院)
嶺岸 孝至 (公立置賜総合病院)

奨励賞

風間 知之 (山形大学医学部附属病院)
佐藤 大亮 (山形大学医学部附属病院)

永年職務精励者表彰

阿部 省吾 (N O S A I 山形家畜診療研修所)
渡辺 道子 (山形大学医学部附属病院)
村形 恵子 (至誠堂総合病院)
居鶴 敦子 (千歳篠田病院)
前田 喜代 (鶴岡協立病院)
佐藤 泉 (日本海総合病院)
石川 輝子 (庄内保健所)
伊藤千栄子 (公立置賜総合病院)
長岡 友子 (村山地区)
伊藤真由美 (庄内最上地区)

5. 山臨技ニュースの発行

平成 29 年 5 月 厚生労働大臣表彰について

平成 30 年 1 月 県知事表彰、高校生進学支援ガイダンス、会員手続きについて

6. 技師会事務所取得委員会の開催

理事会等にあわせて委員を招集し、情報の収集と検討を行った。

7. 役員推薦委員会の開催

平成 29 年 10 月 28 日（土）長井市「TAS パークホテル」（山形県医学検査学会会場内）において開催した。

会 計 部

1. 法人会計として、複式簿記による帳簿整理を行った。
2. 研修会及び会議の参加旅費、各事業への活動費等を予算どおりに執行した。

学 術 部

1. 第 38 回山形県医学検査学会

今年度は『温故知新、そして新たなる創造へ』と題し、置賜地区担当で第 38 回山形県医学検査学会を開催した。急速に変化する医療体制の中、先人たちの残した知識や技術を再考・習熟し、社会から求められる新しい臨床検査技師の姿を発想・創造していく機会となることを願いテーマとした。

【詳 細】

日 時 平成 29 年 10 月 28 日～29 日

場 所 長井市 長井タスパークホテル

テーマ 『温故知新、そして新たなる創造へ』

内 容 特別講演「私達にできる病棟業務とは・・・

－多様なニーズに対応できる臨床検査技師のあり方－

講師 日本臨床衛生検査技師会 代表理事 副会長 横地 常広 氏

教育講演 「感染症アウトブレイクへの対応」

講師 山形県立中央病院 感染症内科 阿部 修一 氏

特別企画 「ふるさと創造」

講師 株式会社鈴木酒造長井蔵 鈴木 大介 氏

一般演題 34 題

ランチョンセミナー 7 題

企業展示 7 社

報告 1 題

○学会学術賞

演題「当院における術中迅速テレパソロジー12年間の実績と評価～技師に求められること～」

三友堂病院 江口 由美 技師

○若人奨励賞

演題「ASC-USの粗造なクロマチン分布と厚みのある角化は high risk HPV 感染を示唆する」

米沢市立病院 大河原 飛鳥 技師

県学会総括会議開催

日 時 平成30年1月27日（土）

場 所 赤湯温泉 むつみ荘 会議室

内 容 役員アンケート集計報告、参加状況、中間決算報告、問題点の整理など

2. 部門長・分野長合同会議及び第37回山形県医学検査学会企画部会議

日 時 平成29年5月13日（土）

場 所 赤湯温泉 「むつみ荘」

協議議題 平成29年度学術部活動計画について
平成29年度部門別活動予算配分について
活動費の管理・会計について
研修会の持ち方について
精度管理事業について
公益事業協力について
生涯教育研修制度について
ホームページ委員会より
学術部運営規定・学会マニュアルの変更について
染色体・遺伝子部門の今後の活動について
第38回山形医学検査学会に向けて
その他

3. 学術部会議

理事会終了後1回開催した。

4. 部門別検査分野事業報告

各部門とも部門長・分野長を中心に積極的かつ思考を凝らした研修会を開催した。

全研修会参加人数は、のべ312名となり、会員の研修会に対する関心の高さが示された。

各部門の研修会詳細は後掲載につき参照していただきたい。

5. 学術部主催研修会の開催

レクチャーでは、近年、2級試験や認定試験に挑戦し取得した技師に講師を依頼し、実際の試験内容を含めたリアルな話題を講演していただいた。若い世代にはスキルアップの成果を確認する手段としても、各種試験は有効と思われる。今後ますます県内の認定取得者が増加することを期待する。指導的立場の技師に対しては、認定を取得する技師たちの良き指導者になって頂くために、参考とされたい。また、臨床検査技師に必要な統計学の基礎知識について講演をください。

【詳細】

日時 平成30年2月10日（土）

会場 赤湯温泉 むつみ荘

研修会テーマ 『自分を磨き、検査を極める』

内容

レクチャー「認定試験への挑戦 ～多様化する臨床検査技師のスキルを養うために～」

- 1) 「二級臨床検査士（微生物学）」 公立置賜総合病院 工藤 慎也 技師
- 2) 「認定病理検査技師」 山形県立新庄病院 阿部 光展 技師
- 3) 「認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師」 山形県立中央病院 五十嵐 裕尚 技師

講演

「基礎から始める統計学

～有意差検定・相関・回帰分析・ROC 曲線・・・きちんと理解していますか？～」

アボットジャパン株式会社 総合研究所 臨床医学研究室 室長代理 田中一平先生

データ解析演習および解説

「データを解析してみよう！業務はもちろん、学会発表・論文投稿にも役立てよう！」

アボットジャパン株式会社 総合研究所 臨床医学研究室 室長代理 田中一平先生

研修会参加者

受講者	一般会員	38名
受講者	賛助会員	2名
講師		4名
実務委員		7名

6. その他

メーカー・他団体主催で技師会共催または後援の研修会を開催した。（詳細は後掲載の部門別検査分野事業報告を参照）

企画部

1) 「第20回 臨床検査展」(山臨技独自開催)

日時：10月8日（日）9：00から15：00

会場：鶴岡市小真木原総合体育館（鶴岡市の市民健康のつどいに参加）

内容：検査のパネル展示、骨密度検査、手洗い体験、尿試験紙の使用法の説明、
物忘れ相談プログラムの体験などを実施。臨床検査技師の仕事の説明するDVDの放映。
日臨技のチラシの配布など。

実行委員 13名

来場者：市民健康のつどい全体では1300名程度の参加者。

2)：全国検査と健康展（日臨技と合同開催）

日時：11月5日（日）9：00から17：00

会場：山形市イオンモール山形南

内容：日臨技のチラシの配布、骨密度検査、血圧測定、呼気の一酸化炭素濃度測定
手洗い体験、認知症のパネル展示や資料の配布。

骨密度の検査、血圧測定は200名以上の方に実施。検査説明ができる臨床検査技師
の講習会に参加された方からは検査説明も行っていただいた。手洗い体験は今年も多
くの方から体験していただいた。

今年はイオンモール山形南店のホームページに開催告知のポスターも掲載できた。

今回もバルーンアートは大盛況でした。

実行委員 17名

1. 日臨技・山形県臨床検査技師会主催

「認知症対応力講習会B」の開催

日時：11月18日（土）13：00から19日（日）16：00

会場：山形市立病院済生館

内容：①本事業の意義と目的（ビデオ講演）

日本臨床衛生検査技師会 執行理事 深澤 恵治 先生

②「認知症における神経心理検査と臨床検査の違い」

山形大学第三内科神経学分野 鈴木 匡子 先生

③認知症疾患医療センター、物忘れ外来、認知症スクリーニングで主に活用される検
査（ビデオ講演）

国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長 櫻井 孝 先生

④MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査総論（ビデオ講演）

鳥取大学医学部 教授 日本認知症予防学会理事長 浦上 克哉 先生

⑤MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査の実習

山形県立こころの医療センター 富樫 直美 技師

⑥ADAS検査総論（ビデオ講演）

鳥取大学医学部附属病院神経内科鳥取県基幹型認知症疾患医療センター
臨床心理士 浜田 実央 先生

⑦ADAS検査の実習

山形県立こころの医療センター 富樫 直美 技師

⑧TDAS検査総論（ビデオ講演）

鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座助教授 河月 稔 先生

⑨TDAS検査の実習

山形県立こころの医療センター 富樫 直美 技師

⑩その他の簡易スクリーニング検査総論（ビデオ講演）

～道路交通法改正もふまえて～

NPO 高齢者安全運転支援研究会 中村 拓司 先生

講義途中に体験実習あり

山形県立こころの医療センター 富樫 直美 技師

参加者 15名

実行委員 5名

「山形医学検査」編集委員会

1. 「山形医学検査」の発行

- 1) VOL.26 No.2 平成 29 年 8 月 31 日発行（会員名簿との合冊として）
- 2) VOL.26 No.3 平成 29 年 10 月 13 日発行（第 38 回山形県医学検査学会講演抄録集および精度管理報告書との合冊として）
- 3) VOL.27 No.1 平成 30 年 2 月 28 日発行

2. 編集委員会の開催

平成 29 年度第 1 回編集委員会

日時：平成 29 年 7 月 25 日 18 時～

場所：山形市医師会健診センター 3 階 食堂

内容：VOL.26 No.2 の編集作業、企画

3. その他

国立国会図書館および医学中央雑誌への「山形医学検査」の送付を行った。

生涯教育研修委員会

1. 研修会及び生涯教育対象行事の JAMTIS への行事登録並びに参加者登録を行った。

- 1) 行事登録： 合計 27 件（基礎教科：5 件、専門教科：22 件）
- 2) 参加者登録： 合計 1,004 名（基礎教科：125 名、専門教科：879 名）
- 3) 自己申告による参加登録件数： 18 件

2. 日臨技推進研修会の申告並びに採用された研修会の報告書及び決算書の提出を行った。

申告：12 件

精度管理・データ標準化委員会

1. 精度管理事業

昨年度も有意義なコントロール・サーベイが実施できた。サーベイ実施項目に増減はなかった。サーベイ回答、入力、解析、評価、施設別報告書の開示を JAMTQC で行った。精度管理報告書を県学会抄録号と合併号として発刊した。精度管理報告会では例年並みの参加を得ることができ盛況のうちに終了することができた。施設規模の大小を問わず会員の精度管理に対する意識の向上維持に寄与できた。主な事業は以下の通りである。

平成 29 年 4 月 26 日	コントロール・サーベイ参加申し込み締め切り
7 月 9 日	コントロール・サーベイ試料発送作業 フォトサーベイ CD 発送作業 サーベイ試料測定・フォトサーベイ回答 (JAMTQC 入力期間 7 月 10 日から 7 月 21 日)
7 月 21 日～9 月中旬	サーベイ解析・評価 (ホームページアップ含む) 精度管理報告書作成 (県学会抄録号と合作)
11 月 21 日	第 1 回精度管理委員会開催 (おもに精度管理報告会について)
11 月 27 日	コントロール・サーベイ施設別報告書 (総括・統計) JAMTQC 上で開示
12 月 3 日	精度管理報告会開催 於：山形県立中央病院講堂 (131 名参加)
3 月下旬	平成 30 年度コントロール・サーベイ参加申し込み発送

2. データ標準化事業

平成 29 年 9 月 30 日 (土) 生物化学分析部門と共催で共用基準範囲について研修会を開催した。

ホームページ委員会

1. 技師会主催研修会・イベント、各種団体研修会の情報提供を行った。
2. 各地区施設の採用情報提供を行った。
3. ブログを活用した情報提供を行った。

平成29年度学術部部門別検査分野活動報告

生 物 化 学 分 析 部 門

部門長(兼)臨床化学分析分野長 佐藤 直 仁
免疫検査分野長 伊 藤 瀬里香

1. 生物化学分析部門研修会

日 時 : 平成 29 年 9 月 30 日 (土)

会 場 : 山形市保健センター 大会議室

テーマ : 『共用基準範囲を考えよう ～データ標準化を叶えるもの～ 』

内 容 : メーカー講演1 『可溶性インターロイキン2受容体 (s IL-2R) 検査の活用法について』

積水メディカル株式会社 検査事業部 学術企画担当 市原 文雄 先生

メーカー講演2 『臨床検査室に求められる品質マネジメントシステム (QMS) について』

＝医療法改正が求めている「検査の品質・精度の確保」について考える＝

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社 ビトロス事業部

バリューストリーム推進室 QMS マネジャー 清 康一 先生

メーカー講演3 『共用基準範囲について』

協和メデックス株式会社 仙台営業所

宮脇 浩介 先生

特別講演 『共用基準範囲 ～ニーズと普及～ 』

九州大学病院 検査部技師長・医療技術部副部長

堀田 多恵子 先生

研修会参加者

受講者 一般会員	37名
受講者 賛助会員	24名
受講者 その他	10名
講 師	4名
実務委員	8名

2. 山臨技臨床化学分析分野・免疫検査分野のコントロールサーベイ

臨床化学28項目について7月に実施した。参加施設は63施設で、回答率100%であった。集計並びに解析結果は、12月3日(日)の精度管理報告会にて報告した。

3. 部門会議の開催

部門会議 平成29年9月30日 山形市保健センター 大会議室

4. その他、技師会共催学術事業

ロシュ循環器セミナー

日 時 : 平成29年9月13日(水)

場 所 : ホテルキャッスル山形

アボットフェア2017 庄内

日 時 : 平成29年10月4日 (水)

場 所 : 東京第一ホテル鶴岡

第28回生物試料分析科学会年次学術集会

日 時 : 平成30年3月3日 (土) ~ 4日 (日)

場 所 : 山形テルサ

臨 床 生 理 機 能 部 門

部門長(兼)超音波分野長	工 藤 祐 一
循環・呼吸生理分野長	佐 藤 譲
神経生理分野長	赤 塚 れい子

1. 臨床生理機能部門研修会

日 時 : 平成29年9月30日

会 場 : かんぼの宿 酒田

内 容 : 講演Ⅰ 「もっと知って欲しい乳癌」

日本海総合病院 乳腺外科 佐藤 千穂 先生

講演Ⅱ 「ME機器の概論 ~医療機器の安全と電気について~」

日本光電工業株式会社 安全管理部 相馬 健 先生

特別講演「神経伝導ハンズオン ~橈骨神経と腓骨神経~」

坂総合病院 生理検査室 藤田 正子 先生

教育講演「末梢神経・筋疾患について」

日本海総合病院 神経内科部長 鈴木 義広 先生

研修会参加者

受講者 一般会員 23名

講 師 4名

実務委員 9名

2. 山臨技サーベイの実施

循環・呼吸生理分野では心電図検査サーベイ、超音波分野では腹部・心臓・血管領域の超音波検査サーベイ、神経生理分野では神経伝導検査・脳波検査サーベイによる精度管理を行った。平成29年12月3日の精度管理報告会にて報告した。

3. 部門会議の開催

第1回 部門会議

日 時 : 平成29年5月27日 (土)

場 所 : 山形済生病院 会議室

4. その他、技師会共催学術事業

第53回山形超音波検査研究会研修会

日 時 : 平成29年7月2日(日)
場 所 : 山形済生病院 2階研修室

第54回山形超音波検査研究会研修会

日 時 : 平成29年10月21日(土)
場 所 : 山形県立中央病院 2階講堂

山形静脈血栓塞栓症懇話会

日 時 : 平成29年5月31日(水)
場 所 : メトロポリタン山形

第4回東北CVT連絡会 第3回山形動脈硬化セミナー

日 時 : 平成29年9月16日(土)
場 所 : 山形グランドホテル

病 理 細 胞 部 門

部門長(兼)病理検査分野長 笈 木 耕 一
細胞検査分野長 鈴 木 俊 市

1. 病理細胞部門研修会

日 時 : 平成29年12月16日(土)
会 場 : 山形市立病院済生館 中会議室
内 容 : 県学会演題レビュー

「当院における術中迅速テレパソロジー12年間の実績と評価」

一般財団法人三友堂病院 江口由美

「乳腺穿刺吸引細胞診が有用であった破骨細胞様巨細胞の出現を伴う乳癌の一例」

公立置賜総合病院 多田雅之

「乳腺原発扁平上皮癌を疑った一症例」

鶴岡市立荘内病院 菅原永里奈

「ASC-USの粗造なクロマチン分布と厚みのある角化はhigh risk HPV感染を示唆する」

米沢市立病院 大河原飛鳥

「SMILEに対応する細胞集塊を認めた子宮頸部上皮内腺扁平上皮癌の一例」

鶴岡市立荘内病院 阿部英沙子

「アスペルギルス症の細胞診の検討」

山形市立病院済生館 矢矧みどり

山臨技サーベイ講評

病理検査分野 茅田耕一

細胞検査分野 鈴木俊市

教育講演

「病理 side から見た第8版肺癌取扱い規約の変更点 肺癌におけるコンパニオン診断について」

山形県立中央病院 病理診断科 柳川直樹 先生

研修会参加者

受講者 一般会員 29名

講師 1名

実務委員 7名

2. 山臨技サーベイの実施

病理検査分野はHE染色サーベイ、細胞検査分野はフォトサーベイを行った。

平成29年12月3日(日)山臨技精度管理報告会、平成29年12月16日(土)病理細胞部門研修会にて、報告・講評がなされた。

3. 部門会議の開催

第一回部門会議 :平成29年9月3日(日)山形市立病院済生館

4. その他、技師会共催学術事業

(子宮の日)子宮頸がん検診啓発活動(日本臨床細胞学会山形県支部との共催)

日時 :平成29年4月9日(日)

場所 :イオンモール天童・イオンモール三川

日本臨床細胞学会山形県支部総会・学術集会(日本臨床細胞学会山形県支部との共催)

日時 :平成29年6月24日(土)

場所 :山形県立中央病院

成人病検診従事者(細胞診)講習会(日本臨床細胞学会山形県支部との共催)

日時 :平成29年6月24日(土)、平成29年12月16日(土)、平成30年1月20日(土)

場所 :山形県立中央病院、山形テルサ

臨床一般部門

臨床一般部門長 佐藤 美由紀

1. 北日本支部臨床一般部門研修会の開催

日時 :平成29年11月25日(土)～26日(日)

会場 :山形大学医学部

テーマ :「為せば成る!為さねば成らぬ一般検査!!」

研修会参加者

受講者	一般会員	87名
受講者	賛助会員	6名
受講者	非会員	3名
講師		7名
実務委員		16名

2. サーベイの実施

尿沈渣成分フォトサーベイ、便潜血検査サーベイ及びアンケート調査を行った。12月3日（日）の精度管理報告会にて報告を行った。

3. 部門会議の開催

第一回部門会議 平成29年6月11日（日）山形大学医学部附属病院会議室（今後の活動計画、精度管理、研修会）

臨床血液部門

臨床血液部門長 阿部 まゆみ

1. 臨床血液部門研修会

日時：平成29年11月19日（日）

会場：山形大学医学部解剖棟3階 第一講義室、第3実習室

テーマ：観て・聴いて・話そう

内容：鏡検実習

- 1) 初心者・初級者対象：4症例（末梢血液像を中心に）
- 2) 中級以上対象：6症例（末梢血・骨髓塗抹標本 白血病や悪性リンパ腫など）

鏡検症例の解説

講演 “血液領域における新規薬剤導入の影響”

—臨床医が臨床検査技師に求めることは—

山形大学大学院医学系研究科 血液・細胞治療内科学分野 教授
石澤賢一先生

研修会参加者

受講者	一般会員	32名
受講者	賛助会員	4名
受講者	その他	2名
講師		1名
実務委員		7名

2. 山臨技サーベイの実施

CBC（6項目）サーベイおよびフォトサーベイを7月に実施した。フォトサーベイは、評価対象10問を実施し出題した。12月に精度管理報告会にて報告を行い、その報告書を山形医学検査に投稿を行った。

3. 部門会議の開催

平成29年11月19日（日）

4. その他、技師会共催学術事業

第31回山形造血器疾患研究会

日時：平成29年7月15日（土）

場所：山形国際ホテル

臨床微生物部門

臨床微生物部門長 木村 東子

1. 臨床微生物部門研修会

日時：平成29年12月9日（土）

会場：山形市立病院済生館

内容：教育講演Ⅰ 「CLSI M100-S27 ドキュメント 主な変更点等」

ベックマン・コールター株式会社

高相 道忠先生

教育講演Ⅱ 「酵母様真菌の薬剤感受性試験」

極東製薬工業株式会社

酒井 静香先生

教育講演Ⅲ 「注意すべき寄生虫性食中毒～クドアとザルコシステイス～」

山形県衛生研究所

鈴木 裕先生

特別講演「真菌検査と知っておけば役立つお話し」

小白川至誠堂病院

中川 卓夫先生

研修会参加者

受講者 一般会員 18名

受講者 賛助会員 13名

講師 4名

実務委員 9名

2. サーベイの実施

菌の同定検査1設問、同定と薬剤感受性試験1設問、フォトサーベイ4設問を実施した。

12月の報告会で報告を行った。

3. 部門会議の開催

1 2月9日（土）：研修会打ち合わせ、準備、今後の計画

4. その他、技師会共催学術事業

第9回山形 ICT Special Meeting

日 時：平成29年6月24日（土）

場 所：山形テルサ

第17回山形県感染対策セミナー

日 時：平成29年7月8日（土）

場 所：大手門パルズ

第16回山形県インフェクションコントロール研究会

日 時：平成29年9月9日（土）

場 所：大手門パルズ

第5回感染症診断フォーラム ー東北ー

日 時：平成29年9月30日（土）

場 所：TKPガーデンシティ仙台

庄内地区感染症懇話会

日 時：平成29年11月3日（金）

場 所：日本海総合病院

第12回山形県抗菌薬療法研究会

日 時：平成29年11月10日（金）

場 所：メトロポリタン山形

輸 血 細 胞 治 療 部 門

輸血細胞治療部門長 岸 宏

1. 輸血細胞治療部門研修会の開催

日 時：平成30年2月17日（土）13時～16時

会 場：みゆき会病院 4階 みゆきホール

内 容：『ABO血液型のことをもっと知ろう！』

バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社カスタマーケア本部 小黒 博之 先生

『臨床からみる輸血副作用』

社会医療法人みゆき会 みゆき会病院 副院長 佐藤伸二 先生

研修会参加者

受講者 一般会員	33名
受講者 賛助会員	1名
講師	2名
実務委員	4名

2. サーベイの実施

検体Ⅰ（試料①血球、試料②血漿）ABO,Rh 血液型、不規則抗体検査

検体Ⅱ（試料③血球、試料④血漿）ABO,Rh 血液型、不規則抗体検査、凝集価測定
（試料⑤⑥⑦血球） 交差試験

検体Ⅰ、Ⅱについては検体の提出された背景を設定し、検査結果の解答のほか設問を設けての回答方式

評価対象外の問題として回答選択のない問題・凝集の強さ・凝集価の測定

12月の精度管理報告会にて報告をおこなった。

3. 部門会議開催

その都度メールにて開催

臨床検査総合部門

臨床検査総合部門長 押切和也

1. 北日本支部臨床検査総合部門研修会の開催

日時：平成29年 9月 9日（土）

会場：山形市立病院済生館 4階大会議室

研修会参加者

受講者 一般会員	43名
受講者 賛助会員	3名
講師	11名
実務委員	9名

2. 部門会議開催

第2回北日本支部研修会企画会議

日時：平成29年 4月 2日（日）

第3回北日本支部研修会企画会議

日時：平成29年 7月23日（日）

第4回北日本支部研修会企画会議

日時：平成29年 8月 6日（日）

平成 29 年度 三地区活動報告

村山地区

1. 地区役員会

- 1) 第 1 回役員会 平成 29 年 6 月 5 日 (火) 山形済生病院
 - ・ 平成 29 年度 日臨技・山臨技行事予定と村山地区担当事業
 - ・ 学生ガイダンスについて
 - ・ 平成 29 年度村山地区事業計画 (地区主催研修会)
- 2) 第 2 回役員会 平成 29 年 10 月 17 日 (月) 山形大学医学部附属病院
 - ・ 学生ガイダンスについて
 - ・ 平成 29 年度第 2 回村山地区主催研修会について

2. 地区研修会

1) 平成 29 年度 第 1 回村山地区主催研修会

日時：平成 29 年 9 月 29 日 (金) 18:20～

会場：山形市立病院済生館 4 階中会議室

内容：教育講演「病態から学ぶ糖代謝・動態」

山形市立病院済生館

糖尿病・内分泌内科 地域糖尿病センター長 五十嵐雅彦 先生

研修会後、居鶴一彦山臨技会長 厚生労働大臣表彰 (臨床衛生業務功労者) 祝賀会懇親会

2) 平成 29 年度 第 2 回 村山地区主催研修会

日時：平成 30 年 2 月 24 日 (土) 14:00～17:15

会場：霞城セントラル 3 階 山形市保健センター 視聴覚室

内容：

① 北日本支部医学検査学会・全国医学検査学会 学会発表レビュー

- ・ 可溶性インターロイキン 2 受容体 (sIL-2R) 測定試薬「ナノピア IL-2R」の基礎的検討
山形大学医学部附属病院 佐藤直仁 技師
- ・ 小児領域における銀増幅反応を用いた高感度マイコプラズマ抗原迅速検査の有用性
山形市立病院済生館 石澤剛 技師
- ・ 救急外来における高感度トロポニン I (hsTn-I) の有用性
山形大学医学部附属病院 阿部知世 技師
- ・ 妊娠患者における偽性 GrayPlatelet 症候群の一例
山形県立中央病院 長谷川毅 技師 (植木哲也 技師)
- ・ 末梢血に帰属不明細胞を認め骨髓検査で悪性黒色腫の骨髓癌腫症と診断された 1 症例
山形大学医学部附属病院 佐藤牧子 技師
- ・ 胎児貧血を認め胎児輸血を実施した抗 Jra 保有妊婦の一症例
山形県立中央病院 加藤美加 技師
- ・ 脳梗塞急性期における FMC と D ダイマーおよび BNP 測定値による臨床病型分類の試み
山形市立病院済生館 国井アツ子 技師

② 教育講演『臨床検査の品質確保 - IS015189 の技術的要求事項をふまえて - 』

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
診断薬マーケティング部 植村康浩 先生

3. 一般社団法人山形県臨床検査技師会への協力事業

1) 日臨技 全国「検査と健康展」

平成 29 年 11 月 5 日 (日) 山形市 イオンモール山形南

2) 進学支援学生ガイダンス

日時：平成 29 年 12 月 9 日 (土) 9:30～

会場：山形大学医学部附属病院 検査部、輸血・細胞治療部

対象：山形県内の高校生

内容：

① オリエンテーション

② 臨床検査の仕事紹介 山形県臨床検査技師会 居鶴一彦会長

③ 臨床検査技師養成大学の紹介

- ・山形市医師会健診センター 高橋綺芽 技師
- ・山形市立病院済生館 井上紗季 技師
- ・山形大学医学部附属病院 平井一樹 技師 伊豆野良太 技師

④臨床検査体験ツアー

- ・標本鏡検 (血液像・病理組織)
- ・生理検査 (心電図、超音波、呼吸機能)
- ・検査室見学 (採血室、検体検査機器)
- ・輸血検査 (血液型検査、血液製剤など)
- ・細菌検査 (培養同定、薬剤感受性、グラム染色など)

⑤アンケート

実行委員：山形市立病院済生館 (居鶴一彦、田中恵子、井上紗季)、山形済生病院 (狩野正昭)、山形県立中央病院 (加藤美加)、山形県立河北病院 (松野枝美)、山形市医師会健診センター (佐藤秀樹、高橋綺芽)、篠田総合病院 (武田律子)、東北中央病院 (遠藤知穂)、天童市民病院 (明石八重)、山形大学医学部附属病院 (奈良崎正俊、鈴木俊紀、風間知之、情野文恵、渡部裕美、阿部宏美、柴田早紀、阿部知世、鈴木朋、庄司なつみ、高濱祐太、平井一樹、大塚那奈、田中麻衣子) ※敬称略

庄内・最上地区

1. 地区役員会

1) 第 1 回役員会 平成 29 年 4 月 28 日 (金) 日本海総合病院 第 3 会議室

- ・平成 29 年度庄内最上地区事業計画について
- ・その他

2) 第 2 回役員会 平成 29 年 9 月 29 日 (金) 日本海総合病院 第 2 会議室

- ・平成 29 年度第 2 回地区研修会について
- ・その他

2. 地区研修会

1) 第1回地区研修会

日時 平成29年8月26日(土)

場所 鶴岡市総合保健福祉センター にこふる

内容 講演 「循環器バイオマーカーについて」
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
LS事業部マーケティング部 免疫チーム 桜井 みどり 先生
講演 「認知症サポーター養成講座」
全国キャラバン・メイト連絡協議会
講演 「認知症領域での検査技師の関わり」
山形県立こころの医療センター 検査科 富樫 直美 先生

2) 第2回地区研修会

日時 平成30年2月24日(土)

場所 うしお荘

内容 講演 「プロセス・エクセレンスによる業務改善のロードマップ」
“気づく・考える・楽しむ”を通して、現場サイドを巻き込んだ変化～
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株)
ビトロス事業部 増本 隆 先生

3. 一般社団法人山形県臨床検査技師会への協力事業

1) 第20回臨床検査展

平成29年10月8日(日)

鶴岡市小真木原体育館

置賜地区

1. 地区役員会

1) 第1回地区役員会議 平成29年5月20日(土) 赤湯温泉 むつみ荘 会議室

- ・平成28年度会計報告
- ・平成29年度置賜地区春季研修会について
- ・第38回山形県医学検査学会について
- ・その他

2) 第2回地区役員会議・置賜地区学会実行委員会 平成29年10月26日(木)

長井タスパークホテル

- ・第38回山形県医学検査学会について
- ・その他

2、第38回山形県医学検査学会 4 役会議

- 1) 第1回会議 平成29年6月29日(木) 公立高島病院
- 2) 第2回会議 平成29年8月28日(月) 長井タスパークホテル
- 3) 第3回会議 平成29年10月11日(水) 長井タスパークホテル

3、一般社団法人山形県臨床検査技師会への協力事業

1) 第44回定期総会

平成29年6月10日(土) 南陽市 むつみ荘

2) 第38回山形県医学検査学会

平成29年10月28日(土)～29日(日) 長井市 長井タスパークホテル

4、地区研修会

1) 平成29年度置賜地区春季研修会

日時：平成29年5月20日(土) 15:30～

場所：赤湯温泉 むつみ荘 会議室

内容：① 講演「認知症サポーター養成講座」

特定非営利活動法人フューチャー倶楽部 鹿野 政行 氏

他 2名

② 「日臨技e-ラーニング」の紹介

平成29年度会計決算報告

(収入の部)

1. 会費収入

会員会費：平成29年度に入金した会員数は629名、4,403,000円であった。

賛助会員会費：48社、960,000円であった。

2. 入会金収入

入会金：平成29年度に入金した会員数は17名、17,000円であった。

賛助会員：1名、1,000円であった。

3. 事業収入

広告料：会誌広告14社で370,000円、学会広告料480,000円であった。

会場整理費：824,500円であった。

部門研修会参加費155,000円、地区研修会参加費71,500円、県学会参加費487,500円、精度管理報告会参加費65,500円、認知症指定講習会B参加費45,000円であった。

精度管理事業費：精度管理参加費260,000円であった。

日臨技助成金：954,500円であった。

生涯教育推進研修会助成金454,500円、全国「検査と健康展」への助成金500,000円であった。

4. 寄付金収入

寄付金はなかった。

5. 雑収入

預金利子：18円であった。

雑収入：各種研修会垂幕作成収入16,000円、日臨技議決権行使書回収委託費30,590円、北日本学会プログラム集送料補助12,200円であった。

6. 前期繰越収支差額

平成28年度の繰越金は1,279,417円であった。

平成29年度の収入は1～5までの合計8,328,808円に繰越金を加え、9,608,225円となった。

(支出の部)

1. 事業費

1) 衛生思想の普及及び啓発

(1) 衛生思想普及啓発事業費：3地区合わせて166,227円で、村山地区58,558円、庄内最上地区70,090円、置賜地区37,579円であった。

2) 臨床検査技術を通じ、保健事業、健康維持・増進事業への協力

(1) 地域保健事業費：569,669円で、主な経費は臨床検査展と日臨技認知症指定講習会B開催費用、学生ガイダンス事業費用である。

3) 臨床検査の精度管理に関する調査・研究・解析

(1) 精度管理事業費：762,710 円で、主な経費は精度管理試料代と郵送費、報告会経費、生物化学と共同開催した共用基準範囲の研修会費用である。

4) 臨床検査に関する学術研究、研修及び広報活動

(1) 学術研究事業費：1,769,206 円で、主な経費は部門、分野の研修活動費と学会費である。

(2) 生涯教育研修事業費：支出はなかった。

5) 機関誌及び会報の発行

(1) 会誌事業費：1,821,097 円で、山形医学検査の印刷費、編集委員会費用である。

6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(1) ホームページ事業費：19,731 円で主な経費はウィルスソフトや PC に関わる事務材料費である。

2. 管理費

管理費は 2,062,699 円を支出した。

給与手当費：事務員賃金である。

福利厚生費：支出はなかった。

会議費：主な経費は三役会議、日臨技、北日本支部幹事会、理事会の会議関連費である。

通信費：郵送代やネット使用料である。

印刷費：主な経費は総会議案書印刷費である。

交通費：主な経費は理事会交通費である。

顕彰費：県技師会表彰経費である。

広告宣伝費：新聞等による広告費である。

消耗品費：事務消耗品費である。

支払手数料：振込等に関わる手数料である。

雑費：会費や広告料の返金、町内会費等を支出した。

3. 事務所維持、取得積立金支出：1,100,000 円支出した。

4. 備品購入積立支出：100,000 円支出した。

5. 予備費：慰労会助成金を支出した。

以上により支出は 8,491,339 円となった。

当期収支差額は-162,531 円となった。

昨年度の繰越金は 1,279,417 円であったため、次年度への繰越金は 1,116,886 円となる。

平成29年度 一般社団法人山形県臨床検査技師会収支計算書

収入額 9,608,225 円 自 平成29年4月 1日
 支出額 8,491,339 円 至 平成30年3月31日
 差引額 1,116,886 円

収入 (単位:円)

科 目	29年度予算額	29年度決算額	増 減	備考
1.会費収入	5,240,000	5,363,000	123,000	
会員	4,340,000	4,403,000	63,000	629名×7,000円
賛助会員	900,000	960,000	60,000	48社×20,000円
2.入会金収入	15,000	18,000	3,000	
会員	15,000	17,000	2,000	17名×1,000円
賛助会員	0	1,000	1,000	1社×1,000円
3.事業収入	3,000,000	2,889,000	△ 111,000	
広告料	700,000	850,000	150,000	会誌広告料、県学会広告料
会場整理費	1,100,000	824,500	△ 275,500	学会・研修会参加費など
精度管理事業費	220,000	260,000	40,000	精度管理参加費
日臨技助成金	980,000	954,500	△ 25,500	日臨技
4.寄付金収入	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
5.雑収入	500	58,808	58,308	
預金利子	500	18	△ 482	
雑収入	0	58,790	58,790	日臨技議決権行使書委託費、垂幕印刷費等
当期収入合計	8,255,000	8,328,808	73,808	
6.前期繰越収入差額	1,279,417	1,279,417	0	
前期繰越収入差額	1,279,417	1,279,417	0	
収入合計	9,534,917	9,608,225	73,308	

支出 (単位:円)

科 目	29年度予算額	29年度決算額	増 減	備考
1.事業費	6,622,000	5,108,640	△ 1,513,360	
1)衛生思想の普及及び啓発				
(1)衛生思想普及啓発事業費	300,000	166,227	△ 133,773	
会議費	30,000	20,217	△ 9,783	
活動費	270,000	146,010	△ 123,990	地区運営費
事務費	10,000	1,807	△ 8,193	
交通費	80,000	25,710	△ 54,290	
通信費	10,000	82	△ 9,918	
材料費	0	0	0	
研修費	130,000	107,274	△ 22,726	
賃借料	10,000	0	△ 10,000	
諸謝金	30,000	11,137	△ 18,863	
印刷費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
2)臨床検査技術を通じ、保健事業、健康保持・増進事業への協				
(1)地域保健事業費	727,000	569,669	△ 157,331	
会議費	5,000	0	△ 5,000	
活動費	410,000	299,390	△ 110,610	臨床検査展
事務費	80,000	1,516	△ 78,484	
交通費	40,000	67,760	27,760	
通信費	10,000	4,425	△ 5,575	
材料費	100,000	35,525	△ 64,475	
研修費	0	0	0	
賃借料	140,000	160,164	20,164	
諸謝金	40,000	30,000	△ 10,000	
認知症講習事業	100,000	95,920	△ 4,080	
学生ガイダンス事業	150,000	107,185	△ 42,815	
負担費	30,000	30,000	0	関連団体協賛費
印刷費	30,000	35,640	5,640	
雑費	2,000	1,534	△ 466	
3)臨床検査の精度管理に関する調査・研究・解析				
(1)精度管理事業費	783,000	762,710	△ 20,290	
会議費	10,000	1,080	△ 8,920	
活動費	770,000	759,470	△ 10,530	
事務費	0	36,000	36,000	

科 目		29年度予算額	29年度決算額	増 減	備 考
	交通費	30,000	19,070	△ 10,930	
	通信費	70,000	104,556	34,556	
	材料費	540,000	514,618	△ 25,382	サーベイ試料
	研修費	70,000	85,226	15,226	精度管理報告会・生化学と共催(共用基準範囲)
	賃借料	0	0	0	
	諸謝金	60,000	0	△ 60,000	
	印刷費	3,000	0	△ 3,000	
	雑費	0	2,160	2,160	
4) 臨床検査に関する学術研究、 研修及び広報活動					
(1) 学術研究事業費		3,070,000	1,769,206	△ 1,300,794	
	会議費	120,000	101,975	△ 18,025	学術部部門分野長会議
	活動費	1,720,000	638,710	△ 1,081,290	部門分野活動費
	事務費	80,000	9,016	△ 70,984	
	交通費	410,000	239,910	△ 170,090	
	通信費	50,000	1,340	△ 48,660	
	材料費	100,000	8,976	△ 91,024	
	研修費	500,000	132,229	△ 367,771	
	賃借料	150,000	0	△ 150,000	
	諸謝金	430,000	247,239	△ 182,761	
	学会費	1,200,000	1,017,313	△ 182,687	県学会
	印刷費	30,000	11,208	△ 18,792	
	雑費	0	0	0	
(2) 生涯教育研修事業費		2,000	0	△ 2,000	
	会議費	0	0	0	
	活動費	2,000	0	△ 2,000	
	事務費	0	0	0	
	交通費	0	0	0	
	通信費	2,000	0	△ 2,000	
	材料費	0	0	0	
	研修費	0	0	0	
	賃借料	0	0	0	
	諸謝金	0	0	0	
	印刷費	0	0	0	
	雑費	0	0	0	
5) 機関誌及び会報の発行					
(1) 会誌事業費		1,720,000	1,821,097	101,097	
	会議費	5,000	5,545	545	
	活動費	15,000	10,548	△ 4,452	
	事務費	0	6,000	6,000	査読料
	交通費	7,000	1,000	△ 6,000	
	通信費	3,000	3,548	548	
	材料費	0	0	0	
	研修費	0	0	0	
	賃借料	0	0	0	
	諸謝金	5,000	0	△ 5,000	
	印刷費	1,700,000	1,805,004	105,004	山形医学検査
	雑費	0	0	0	
6) その他本会の目的を達成するために必要な事業					
(1) ホームページ事業費		20,000	19,731	△ 269	
	会議費	0	0	0	
	活動費	20,000	19,731	△ 269	
	事務費	20,000	19,731	△ 269	PC関連
	交通費	0	0	0	
	通信費	0	0	0	
	材料費	0	0	0	
	研修費	0	0	0	
	賃借料	0	0	0	
	諸謝金	0	0	0	
	印刷費	0	0	0	
	雑費	0	0	0	
2. 管理費		2,710,000	2,062,699	△ 647,301	
	給与手当	600,000	556,450	△ 43,550	事務員給与
	福利厚生費	30,000	0	△ 30,000	
	会議費	300,000	169,863	△ 130,137	三役会議、日臨技、理事会、総会費
	通信費	300,000	311,411	11,411	切手、郵送費、ネット使用料

科 目	29年度予算額	29年度決算額	増 減	備考
災害システム構築費	500,000	0	△ 500,000	
印刷費	100,000	136,242	36,242	総会議案書等
交通費	570,000	557,080	△ 12,920	理事会交通費他
顕彰費	150,000	100,683	△ 49,317	功労賞、奨励賞、永年職務者精励賞
広告宣伝費	100,000	64,800	△ 35,200	新聞広告掲載
消耗品費	35,000	51,886	16,886	事務消耗品等
事務費	10,000	0	△ 10,000	
支払手数料	10,000	4,212	△ 5,788	
雑費	5,000	110,072	105,072	町内会費、入会金・広告料返金等
3.事務所維持、取得積立金支出	0	1,100,000	1,100,000	
4.備品購入積立支出	0	100,000	100,000	
5.予備費	202,917	120,000	△ 82,917	
予備費	202,917	120,000	△ 82,917	慰労会助成金
当期支出合計	9,534,917	8,491,339	△ 1,043,578	
当期収支差額	0	△ 162,531	△ 162,531	
支出合計	9,534,917	8,491,339	△ 1,043,578	

一般会計正味財産増減計算書
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (単位:円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額	1,116,886		
2. 負債減少額	0		
増加額合計		1,116,886	
II. 減少の部			
1. 資産減少額	0		
減少額合計		0	
2. 負債増加額	0		
減少額合計		0	
当期正味財産増加額			1,116,886
前期繰越正味財産額			0
期末正味財産合計額			1,116,886

一般会計貸借対照表 平成30年3月31日現在 (単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,136,886		
流動資産合計		5,136,886	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産			
無形固定資産合計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			5,136,886
II. 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		4,020,000	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			4,020,000
III. 正味財産の部			
正味財産		1,116,886	
負債及び正味財産合計			1,116,886

一般会計財産目録 平成30年3月31日現在 (単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	7,689		
現金手持有高			
銀行預金	4,960,197		
普通預金			
郵便振替口座	169,000		
流動資産合計		5,136,886	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産			
無形固定資産合計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			5,136,886
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金(山臨技会費・入会金、広告料)	4,020,000		
負債合計		4,020,000	
III. 正味財産の部			
正味財産		1,116,886	
負債及び正味財産合計			1,116,886

第38回山形県医学検査学会収支報告

収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
1. 学会参加費	487,500	
一般会員	368,000	2,000円×184名
非会員	3,500	3,500円×1名
賛助会員	116,000	2,000円×58名
2. 広告費	480,000	
会場使用料	420,000	60,000円×7社
展示料	60,000	10,000円×6社
3. 情報交換会・宿泊費	1,354,000	
情報交換会のみ(一般)	225,000	9,000円×25名
情報交換会のみ(賛助)	333,000	9,000円×37名
宿泊(一般会員)	728,000	13,000円×56名
情報交換会二次会費	68,000	1,000円×68名
4. 総括会議参加費	78,000	5000円×15名、キャンセル料2名
5. 雑収入	2	預金利息
合 計	2,399,502	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
1. 事業費	2,449,313	
会議費	165,420	総括会議等
事務費	16,621	LANケーブル、図書カード(1,000円×14名)等
交通費	76,560	実行委員会交通費等
通信費	2,460	切手代
研修費	1,584,806	ランチョンセミナー弁当代:326,160円(1,080円×302個) 情報交換会・宿泊費:1,066,956円 アトラクション表彰等:30,000円
賃借料	492,264	会場費
諸謝金	44,548	講師謝礼:44,548円
顕彰費	23,888	学会学術賞1名、学会若人奨励賞1名、額縁
印刷費	32,738	参加証印刷等
雑費	10,008	手数料、菓子(質問コーナー、スタンプラリー)等
合 計	2,449,313	

収入額	2,399,502円
支出額	2,449,313円
差引額	-49,811円

平成29年度特別会計決算報告

1. 事務所取得費、維持費の収入は一般会計からの繰入金と預金利子である。支出は家賃、電気、水道等の事務所経費と事務所のエアコン購入費である。
2. 北日本支部学会山形県開催準備費の収入は預金利子である。支出はない。
3. 備品購入積立金の収入は一般会計からの繰入金と預金利子である。支出はプリンターとノート PC 購入費である。

特別会計収支計算書

事務所取得費、維持費収支計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
I. 収入の部				
繰入金収入	0	1,100,000	1,100,000	一般会計繰入金
雑収入	0	303,017	303,017	預金利子
当期収入合計(A)	0	1,403,017	1,403,017	
前期繰越収支差額	20,777,695	20,777,695	0	
収入合計(B)	20,777,695	22,180,712	1,403,017	
II. 支出の部				
事務所維持支出	1,122,000	1,516,719	394,719	
当期支出合計(C)	1,122,000	1,516,719	394,719	
当期収支差額(A)-(C)	△1,122,000	△113,702	1,008,298	
次期繰越収支差額(B)-(C)	19,655,695	20,663,993	1,008,298	

北日本支部学会山形県開催準備費収支計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
I. 収入の部				
繰入金収入	0	0	0	
雑収入	0	435	435	預金利子
当期収入合計(A)	0	435	435	
前期繰越収支差額	5,140,976	5,140,976	0	
収入合計(B)	5,140,976	5,141,411	435	
II. 支出の部				
北日本支部学会準備支出	0	0	0	
当期支出合計(C)	0	0	0	
当期収支差額(A)-(C)	0	435	435	
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,140,976	5,141,411	435	

備品購入積立会計(パソコン等購入積立会計)収支計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
I. 収入の部				
繰入金収入	0	100,000	100,000	
雑収入	0	6	6	預金利子
当期収入合計(A)	0	100,006	100,006	
前期繰越収支差額	691,465	691,465	0	
収入合計(B)	691,465	791,471	100,006	
II. 支出の部				
備品購入支出	0	357,372	357,372	
当期支出合計(C)	0	357,372	357,372	
当期収支差額(A)-(C)	0	△257,366	△257,366	
次期繰越収支差額(B)-(C)	691,465	434,099	△257,366	

平成29年度事務所維持特別会計収支計算書
 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

収 入 (単位：円)

科 目	29年度予算額	29年度決算額	増 減	備 考
事務所維持管理費	1,122,000	1,516,719	394,719	
管理費				
維持費	1,122,000	1,516,719	394,719	事務所維持費より
収 入 合 計	1,122,000	1,516,719	394,719	

支 出 (単位：円)

科 目	29年度予算額	29年度決算額	増 減	備 考
事務所維持管理費	1,122,000	1,516,719	394,719	
事務費	84,000	124,247	40,247	
コピー印刷費	84,000	124,247	40,247	7,000円×12ヶ月
光熱費	78,000	93,334	15,334	
水道	30,000	26,174	△ 3,826	2,500円×12ヶ月
電気	48,000	67,160	19,160	4,000円×12ヶ月
賃借料	960,000	960,000	0	
事務所家賃	960,000	960,000	0	80,000円×12ヶ月
事務所備品購入費	0	334,800	334,800	
エアコン	0	334,800	334,800	エアコン
雑費	0	4,338	4,338	
雑費	0	4,338	4,338	振込手数料等
支 出 合 計	1,122,000	1,516,719	394,719	

事務所取得費、維持費正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額	1,403,017	
2. 負債減少額	0	
増加額合計		1,403,017
II. 減少の部		
1. 資産減少額	1,195,897	
2. 負債増加額	0	
減少額合計		1,195,897
当期正味財産減少額		△207,120
前期繰越正味財産額		20,777,695
期末正味財産合計額		20,984,815

事務所取得費、維持費貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	20,663,993	
流動資産合計		20,663,993
2. 固定資産		
1) 有形固定資産	320,822	
有形固定資産合計		320,822
2) 無形固定資産	0	
無形固定資産合計		0
固定資産合計		320,822
資産合計		20,984,815
II. 負債の部		
1. 流動負債	0	
負債合計		0
III. 正味財産の部		
正味財産		
負債および正味財産合計		20,984,815

事務所取得費、維持費財産目録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
銀行預金		
定期預金	8,098,936	
労金	10,301,386	
ゆうちょ	2,263,671	
普通預金		
きらやか		
流動資産合計		20,663,993
2. 固定資産		
1) 有形固定資産	320,822	
有形固定資産合計		320,822
2) 無形固定資産	0	
無形固定資産合計		0
固定資産合計		320,822
資産合計		20,984,815
II. 負債の部		
流動負債	0	
負債合計		0
III. 正味財産の部		
正味財産		
		20,984,815

北日本支部学会山形県開催準備費正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額	435		
2. 負債減少額	0		
増加額合計		435	
II. 減少の部			
1. 資産減少額	0		
減少額合計		0	
2. 負債増加額	0		
減少額合計		0	
当期正味財産減少額			435
前期繰越正味財産額			5,140,976
期末正味財産合計額			5,141,411

北日本支部学会山形県開催準備費貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,141,411		
流動資産合計		5,141,411	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産	0		
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			5,141,411
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III. 正味財産の部			
正味財産			
負債及び正味財産合計			5,141,411

北日本支部学会山形県開催準備費財産目録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
銀行預金 荘内銀行定期預金	5,141,411		
流動資産合計		5,141,411	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産	0		
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			5,141,411
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			5,141,411

備品購入積立会計正味財産増減計算書
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (単位：円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額	100,006		
2. 負債減少額	0		
増加額合計		100,006	
II. 減少の部			
1. 資産減少額	27,081		
2. 負債増加額	0		
減少額合計		27,081	
当期正味財産減少額			72,925
前期繰越正味財産額			691,465
期末正味財産合計額			764,390

備品購入積立会計貸借対照表
平成30年3月31日現在 (単位：円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	434,099		
流動資産合計		434,099	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産	330,291		
有形固定資産合計		330,291	
2) 無形固定資産	0		
固定資産合計		330,291	
資産合計			764,390
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III. 正味財産の部			
正味財産			
負債及び正味財産合計			764,390

備品購入積立会計財産目録
平成30年3月31日現在 (単位：円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
銀行預金 きらやか銀行	434,099		
流動資産合計		434,099	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産	330,291		
有形固定資産合計		330,291	
2) 無形固定資産	0		
固定資産合計		330,291	
資産合計			764,390
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			764,390

平成29年度備品台帳内訳明細書

機 器	メーカー	規 格	数 量	保管場所	購入年度	購入価格	耐用年数	償却方法	H28 末簿価	H29 償却額	備 考
留守番電話	パナソニック	SVAS2S	1	事務所	平成 15 年	16,590	6	旧定額法	767	0	-
A2 サイズプリンター	EPSON	TX 6200S	1	事務所	平成 17 年	226,695	4	旧定額法	11,335	0	H29 廃棄
ノートPC	Dell	Inspiron1300	1	事務所	平成 18 年	132,095	4	旧定額法	6,605	0	-
ノートPC	Dell	Vostro1500	1	事務所	平成 19 年	144,895	4	定率法	1	0	-
プロジェクター	EPSON	EMP1705	1	事務所	平成 19 年	188,000	4	定率法	1	0	-
ノートPC	Dell	Inspiron1520	1	事務所	平成 20 年	93,590	4	定率法	1	0	-
ノートPC	Dell	Inspiron1520	1	事務所	平成 20 年	93,590	4	定率法	1	0	-
プロジェクター	EPSON	EMP1705	1	事務所	平成 20 年	188,000	4	定率法	1	0	-
A1 サイズプリンター	EPSON	SC-T3250	1	事務所	平成 29.10	208,980	5	定額法	0	20,898	
エアコン	三菱	MSZ-HXV71179	1	事務所	平成 30.1	334,800	6	定額法	0	13,978	
ノート PC	mouse	m-BookB504H	1	HP 委員会	平成 30.2	148,392	4	定額法	0	6,183	
合 計						1,606,427			18,712	41,059	

平成29年度監査報告

一般社団法人 山形県臨床検査技師会
代表理事 居鶴 一彦 殿

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の職務執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該事業年度に係わる事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係わる計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告については、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成 30年 4月 23日

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

監事 松野 枝美 

監事 富樫 正子 

監事 高橋 由紀 

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

一般社団法人 山形県臨床検査技師会
代表理事 居鶴 一彦 殿

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の職務執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該事業年度に係わる事業報告及びその附属明細書について検討しました。

2. 監査の結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

平成 30年 4月 23日

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

監事 松野 枝英 

監事 富樫 正子 

監事 高橋 由紀 

第1号議案

平成30年度事業計画（案）

平成29年度は医療法・臨床検査技師等に関する法律の一部改正という大きな変革がありました。医療機関等の中で検体検査を行う場合の施設の構造設備等並びに精度の確保の方法等に関する基準の創設、衛生検査所等において行われる検体検査の精度の確保に関する基準の明確化の措置の他、検体検査を包括規定し、詳細な分類は厚生労働省に委任することが規定され、平成30年12月13日が実施期限となっています。

平成30年度は診療報酬と介護報酬の6年に一度の同時改定の年であり、医療介護はさらに厳しい状況となっています。診療報酬の改定率は、医師の人件費などに当たる本体部分はプラス0.55%、医薬品や医療機器、検査などの適正な評価として臨床検査（検体検査）は194項目が引き下げられ、引き上げ5項目、新設30項目でした。

改定の基本的視点と具体的方向性として、地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進があげられます。患者の状態等に応じて質の高い医療が適切に受けられるとともに、必要に応じて介護サービスと連携・協働する等、切れ目のない医療・介護提供体制が確保されることが重要となり、このためには、医療機能の分化・強化、連携を進め、効果的・効率的で質の高い医療提供体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムを構築していくことが必要であるとされています。在宅医療や認知症対策、医薬品、医療機器、検査等におけるイノベーションを含む先進的な医療技術の適切な評価などもかかわってきます。ISO15189など各施設での対応が求められます。

山形県臨床検査技師会（山臨技）では引き続き、職能団体として学術活動を主体として山形県医学検査学会、各部門研修会、精度管理事業などを継続的に行います。昨年に続いて認定認知症領域検査技師のための「認知症対応力向上講習会B」を開催いたします。また、「検体検査の特定分野における業務制限」に向けて、遺伝子関連検査、輸血を含む移植関連検査、がん治療（遠隔診断など）に関する病理診断、耐性菌に関する微生物検査など、高度な知識や技術を要する分野については検査の専門家として検査の品質と精度保証を確保する目的に、日本臨床衛生検査技師会（日臨技）の事業にも協力します。

厚生省は遺伝子関連検査を含むゲノム医療の取り組むべき課題として、遺伝子関連検査の品質・精度の確保、ゲノム医療に従事する者の育成などにかかわる取り組みをしていくとしています。山臨技としては、臨床微生物部門、病理細胞診部門、臨床血液部門、生物化学分析部門そして染色体・遺伝子部門と共同して基礎からの研修をしたいと考えます。

日臨技主催の「医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会（多職種業務を知る）企画担当者研修会」は、「検査説明ができる検査技師育成講習会」を受けて次なるステップの研修会です。また、「都道府県技師会リーダー育成研修会」は各都道府県技師会の底上げのためのリーダー研修会であり、参加をし研修内容の還元を図ります。

日臨技第8回北日本支部学会が2019年度に山臨技主催で開催されます。平成30年度には、第8回北日本支部学会実行委員会を立ち上げ、企画・内容の検討を行います。

高校生進路支援ガイダンスは、臨床検査技師の人材確保を目的に継続して行います。

平成28年の参議院議員選挙において日臨技会長宮島喜文氏が当選し、中央社会保険医療協議会においても宮島会長の後継に横地常広専務理事が就任しています。臨床検査技師と医療をめぐる情勢は重要

であり、「臨床検査の質の向上」及び「法改正」の実現を図り、国民の医療、福祉に寄与することを目的とした日本臨床検査技師連盟への加入への啓蒙を日本臨床検査技師連盟とともに行っていきます。

その他、各部・各委員会の事業計画詳細（案）については後掲いたします。

庶務部

1. 技師会事業の円滑な遂行
 - 1) 他部門や各委員会と協力し、理事会・定期総会・学会の準備などを行う。
2. 技師会諸帳簿管理
 - 1) 各議事録や諸帳簿の管理を行う。
3. 一般社団法人としての管理
 - 1) 県と法務局に提出する必要書類の作成を行う。
4. 情報公開についての整備
 - 1) 山臨技ニュース等の情報の発信やホームページを利用した求人・求職などの情報提供を引き続き行う。
5. 情報網の整備と充実
 - 1) 山臨技におけるメーリングリストの更なる充実と連絡網の整備を行う。
6. 事務所取得に係わる情報収集

会計部

1. 法人会計の整備
 - 1) 公認会計士を導入し、法人会計として複式簿記による帳簿整理を行い、明確な会計処理をする。
2. 円滑な会計処理
 - 1) 各事業部、委員会、学術研究部門、事務所と連絡を取り合い、事業を円滑に進められるように努める。

学術部

- 1) 部門長・分野長合同会議の開催
部門長・分野長合同会議を開催し、学術部各部門への予算配分、研修会の要件、精度管理、生涯教育研修制度、山形医学検査、及び公益事業協力等について討議検討する。
部門長・分野長合同会議を4月28日（土）開催予定
- 2) 第39回山形県医学検査学会への取り組み
今年度、庄内地区担当で開催予定である。学会企画部会議を開催し学会の方向性を検討するとともに、学会運営部と連携し協力しながら種々の業務に取り組む。
- 3) 各部門・分野及び各委員会への事業支援
部門長・分野長と連携し、会員の皆様が参加しやすい研修会の開催を目指す。日臨技認定制度の認定更新指定研修会の登録申請も随時行う。
精度管理委員会・データ標準化委員会に協力する。
「山形医学検査」発行へ協力する。
- 4) 染色体遺伝子部門の今後の活動に向けての取り組み
染色体遺伝子部門の今後のあり方について検討し、活動の始動に努める。

5) 学術部主催研修会の開催

学術部主催の研修会を企画し、技師同士の交流の場を提供し、仲間づくり、組織強化を目指す。

6) 共催および後援への協力

メーカーや他団体が主催する研修会において、共催および後援に対しては内容を吟味し理事会の承認を得たうえで協力する。

企 画 部

1. 臨床検査展と全国「検査と健康展」の開催

第 21 回臨床検査展

時期：未定

会場：未定

全国「検査と健康展」

時期：未定

会場：未定

2. 日臨技・山形県臨床検査技師会主催

認知症対応力向上講習会 B の開催準備

時期：平成 30 年 8 月 18 日、19 日

会場：山形大学医学部

医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会

時期：平成 31 年 1 月 19 日、20 日

会場：山形市立病院済生館

「山形医学検査」編集委員会

1. 編集委員会の開催

企画、編集作業など、年 3 回開催する。

2. 「山形医学検査」の発行

「山形医学検査」を年 3 回発行する。

学術機関紙としての役割を重視し、研究論文を多く掲載する。

3. 「山形医学検査」の発行予定

Vol.27 No.2 平成 30 年 8 月 (会員名簿との合冊)

Vol.27 No.3 平成 30 年 10 月

(山形県医学検査学会抄録集および精度管理報告書との合冊)

Vol.28 No.1 平成 31 年 2 月

4. その他

国立国会図書館および医学中央雑誌への「山形医学検査」の送付を行う。

生涯教育研修委員会

1. 研修会及び生涯教育対象行事の JAMTIS への行事登録並びに参加登録を行う。
2. 日臨技推進研修会の申請並びに採用された研修会の報告書及び決算書の提出を行う。

精度管理・データ標準化委員会

1. 精度管理事業

JAMTQC を可能な限り利用してコントロール・サーベイを実施する。コントロール・サーベイを通し、県内各施設、または会員一人一人の高いレベルでの標準化に寄与する。具体的に、本年度は役員改選の年でもあり早い時期に委員会を開催し、スムーズな引継ぎ、余裕を持たせた日程でサーベイ実施に努める。

また、医療法・臨床検査技師等に関する法律の一部改正に伴い精度管理委員会として必要に応じて支援する。主な事業計画は以下の通りである。

平成 30 年 4 月下旬	コントロール・サーベイ参加申し込み締め切り
6 月から 7 月	第 1 回精度管理委員会
6 月から 7 月	サーベイ試料・フォトサーベイ CD 発送
7 月から 8 月	サーベイ試料測定・フォトサーベイ回答 (JAMTQC 入力期間は昨年同様入力期日を厳正に設定する)
8 月から 9 月	サーベイ解析・評価 (ホームページアップ含む)
10 月	精度管理報告書発刊 (県学会抄録号との合作)
10 月から 11 月	施設別報告書開示
11 月	第 2 回精度管理委員会
12 月 9 日 (日)	精度管理報告会 会場：山形県立中央病院講堂
平成 31 年 3 月下旬	平成 31 年度コントロール・サーベイ参加申し込み発送

2. データ標準化事業

精度保証施設認証を新規申請する施設の拡大、啓蒙活動につとめる。共用基準範囲の採用拡大に向け啓発活動に努める。

ホームページ委員会

1. 会員の方々に情報源として活用され、利用しやすいホームページ制作を行う。
2. 各部門、各団体と連携しホームページによる情報発信を行う。
3. 臨床検査技師の地位向上に役立つように外部情報発信を行う。
4. 災害時の非常連絡網としてのあり方を引き続き検討する。

第 2 号議案

平成 30 年度一般社団法人山形県臨床検査技師会予算（案）

（収入の部）

1. 会費収入
 会員会費：620 名で計算した。
 賛助会員会費：46 社で計算した。
2. 入会金収入
 入会金：昨年並みとした。
3. 事業収入
 広告料：平成 29 年度決算を参考にした。
 会場整理費：過去数年分の決算を参考にした。
 精度管理事業費：平成 29 年度決算を参考にした。
 助成金：平成 30 年度日臨技助成金をもとに算出した。
4. 寄付金収入
 見込まない。
5. 雑収入
 預金利子：昨年並みとした。

（支出の部）

1. 事業費
 各部・委員会の事業計画と過去数年分の決算を参考に、予算の範囲内で割り振りを行った。
 「職能向上のための臨床検査技師育成講習会」費用は「検査説明・相談のできる検査技師育成講習会」費用を参考にした。
2. 管理費
 平成 29 年度決算を参考にした。
 災害システム構築費を 100,000 円とした。
 会計士への業務委託費を 200,000 円とした。
3. 予備費
 事業費・管理費が不足した時、また、その他必要時に用いる。

平成30年度 一般社団法人山形県臨床検査技師会予算(案)

収入額 9,801,936 円 自 平成30年4月 1日
 支出額 9,801,936 円 至 平成31年3月31日
 差引額 0 円

収入 (単位:円)

科 目	29年度予算額	30年度予算額	増 減	備考
1.会費収入	5,240,000	5,260,000	20,000	
会員	4,340,000	4,340,000	0	620名×7,000円
賛助会員	900,000	920,000	20,000	46口×20,000円
2.入会金収入	15,000	15,000	0	
会員	15,000	15,000	0	15名×1,000円
賛助会員	0	0	0	
3.事業収入	3,000,000	3,410,000	410,000	
広告料	700,000	850,000	150,000	会誌広告料、県学会広告料
会場整理費	1,100,000	1,100,000	0	学会・研修会参加費など
精度管理事業費	220,000	260,000	40,000	精度管理参加費
助成金	980,000	1,200,000	220,000	公益目的事業、生涯教育助成金
4.寄付金収入	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
5.雑収入	500	50	△ 450	
預金利子	500	50	△ 450	
雑収入	0	0	0	
6.前期繰越収入差額	1,279,417	1,116,886	△ 162,531	
前期繰越収入差額	1,279,417	1,116,886	△ 162,531	
収入合計	9,534,917	9,801,936	267,019	

支出 (単位:円)

科 目	29年度予算額	30年度予算額	増 減	備考
1.事業費	6,622,000	7,092,000	470,000	
1)衛生思想の普及及び啓発				
(1)衛生思想普及啓発事業費	300,000	300,000	0	
会議費	30,000	30,000	0	
活動費	270,000	270,000	0	地区運営費
事務費	10,000	10,000	0	
交通費	80,000	80,000	0	
通信費	10,000	10,000	0	
材料費	0	0	0	
研修費	130,000	130,000	0	
賃借料	10,000	10,000	0	
諸謝金	30,000	30,000	0	
印刷費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
2)臨床検査技術を通じ、保健事業、健康保持・増進事業への協力				
(1)地域保健事業費	727,000	1,197,000	470,000	
会議費	5,000	5,000	0	
活動費	410,000	410,000	0	臨床検査展
事務費	80,000	80,000	0	
交通費	40,000	40,000	0	
通信費	10,000	10,000	0	
材料費	100,000	100,000	0	
研修費	0	0	0	
賃借料	140,000	140,000	0	
諸謝金	40,000	40,000	0	
職能向上事業費	0	420,000	420,000	
認知症講習会事業	100,000	100,000	0	
学生ガイダンス事業	150,000	150,000	0	
リーダー育成研修会	0	50,000	50,000	
負担費	30,000	30,000	0	関連団体協賛費
印刷費	30,000	30,000	0	
雑費	2,000	2,000	0	
3)臨床検査の精度管理に関する調査・研究・解析				
(1)精度管理事業費	783,000	783,000	0	
会議費	10,000	10,000	0	
活動費	770,000	770,000	0	
事務費	0	40,000	40,000	図書カード
交通費	30,000	30,000	0	
通信費	70,000	100,000	30,000	
材料費	540,000	530,000	△ 10,000	サーベイ試料
研修費	70,000	70,000	0	精度管理報告会
賃借料	0	0	0	
諸謝金	60,000	0	△ 60,000	
印刷費	3,000	3,000	0	
雑費	0	0	0	

科目	29年度予算額	30年度予算額	増減	備考
4)臨床検査に関する学術研究、研修及び広報活動				
(1)学術研究事業費	3,070,000	3,070,000	0	
会議費	120,000	120,000	0	学術部部門分野長会議
活動費	1,720,000	1,720,000	0	部門分野活動費
事務費	80,000	80,000	0	
交通費	410,000	410,000	0	
通信費	50,000	50,000	0	
材料費	100,000	100,000	0	
研修費	500,000	500,000	0	
賃借料	150,000	150,000	0	
諸謝金	430,000	430,000	0	
学会費	1,200,000	1,200,000	0	県学会
印刷費	30,000	30,000	0	
雑費	0	0	0	
(2)生涯教育研修事業費	2,000	2,000	0	
会議費			0	
活動費	2,000	2,000	0	
事務費	0	0	0	
交通費	0	0	0	
通信費	2,000	2,000	0	
材料費	0	0	0	
研修費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
5)機関誌及び会報の発行				
(1)会誌事業費	1,720,000	1,720,000	0	
会議費	5,000	5,000	0	
活動費	15,000	15,000	0	
事務費	0	5,000	5,000	査読料
交通費	7,000	7,000	0	
通信費	3,000	3,000	0	
材料費	0	0	0	
研修費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
諸謝金	5,000	0	△ 5,000	
印刷費	1,700,000	1,700,000	0	山形医学検査
雑費	0	0	0	
6)その他本会の目的を達成するために必要な事業				
(1)ホームページ事業費	20,000	20,000	0	
会議費	0	0	0	
活動費	20,000	20,000	0	
事務費	20,000	20,000	0	
交通費	0	0	0	
通信費	0	0	0	
材料費	0	0	0	
研修費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
2.管理費	2,710,000	2,530,000	△ 180,000	
給与手当	600,000	650,000	50,000	事務員給与
福利厚生費	30,000	30,000	0	慶弔費、保険料等
会議費	300,000	300,000	0	三役会議、日臨技、東臨技、総会費
通信費	300,000	300,000	0	切手、郵送費、ネット使用料
災害システム構築費	500,000	100,000	△ 400,000	
業務委託費	0	200,000	200,000	
印刷費	100,000	100,000	0	技師会封筒、総会議案書等
交通費	570,000	570,000	0	理事会交通費他
顕彰費	150,000	150,000	0	功労賞、奨励賞、永年職務者精励賞
広告宣伝費	100,000	70,000	△ 30,000	
消耗品費	35,000	35,000	0	
事務費	10,000	10,000	0	
支払手数料	10,000	10,000	0	
雑費	5,000	5,000	0	
3.事務所維持、取得積立金支出	0	0	0	
4.備品購入積立支出	0	0	0	
5.予備費	202,917	179,936	△ 22,981	
予備費	202,917	179,936	△ 22,981	
支出合計	9,534,917	9,801,936	267,019	

平成 30 年度一般社団法人山形県臨床検査技師会特別会計予算(案)

収入

(単位:円)

科目	金額	備考
事務所維持費より繰入れ	1,170,000	

支出

(単位:円)

科目	金額	備考
事務所賃貸料	960,000	80,000 円×12 ヶ月
電気料金	60,000	5,000 円×12 ヶ月
水道料金	30,000	2,500 円×12 ヶ月
コピー印刷費	120,000	10,000 円×12 ヶ月
支出合計	1,170,000	

第3号議案

平成30・31年度一般社団法人山形県臨床検査技師会役員改選（案）

	名前		施設名
理事	居鶴	一彦	山形市立病院済生館
理事	奈良崎	正俊	山形大学医学部附属病院
理事	大内	明	日本海総合病院
理事	加藤	裕之	白鷹町立病院
理事	植木	哲也	山形県立河北病院
理事	風間	知之	山形大学医学部附属病院
理事	大江	雅宏	山形市立病院済生館
理事	渡邊	いづみ	山形県立中央病院
理事	齋藤	紀子	山形済生病院
理事	大津	敦子	山形市医師会健診センター
理事	黒田	博美	篠田総合病院
理事	鈴木	智美	東北中央病院
理事	高橋	勝也	荘内地区健康管理センター
理事	齋藤	友成	鶴岡協立病院
理事	佐藤	修子	日本海総合病院
理事	岡部	奈穂	鶴岡市立荘内病院
理事	多田	優一	本間病院
理事	市川	真由美	公立置賜総合病院
理事	五十嵐	由美	公立置賜総合病院
理事	吉田	佳奈子	三友堂病院
理事	荒木	由美	米沢市立病院
監事	武田	和子	山形県立中央病院
監事	阿部	光展	山形県立新庄病院
監事	阿部	亜希子	公立高畠病院

第4号議案

その他

講 演

「検査室からのチーム医療参画と臨床支援」

(L I S・診断新システムを利用した支援のご紹介)

講師：アボットジャパン株式会社

テクニカルスペシャリスト 嶋崎 徹 氏

「検査の精度に関する法改正の話題」

講師：アボットジャパン株式会社

セールステクニカルソリューション部 部長

井地 聰一 氏

司会：一般社団法人山形県臨床検査技師会

会長 居鶴 一彦

